

## JECC デジタルリユースとの連携を強化 ①LCM分野

2019年のサービスセンター移転後、当社ではグループ会社であるデジタルリユース(以下DR)との連携を強化しています。その内容を2回に分けて紹介します。今回はLCM分野での連携について解説します。

### LCMでIT資産運用をサポートし コスト削減、業務効率化に貢献

LCMサービスとは、IT資産のライフサイクル（パソコン等の計画から、調達、導入、運用、リプレースまで）を一元管理するアウトソーシングサービスです（図）。お客様自身がIT資産を運用するには、機器の保管場所や人材の確保が不可欠ですが、LCMサービスを利用して業務をアウトソーシングすることにより、自社のコア業務に人的リソースを集中できるため、管理コストを削減できるというメリットがあります。また、月々にかかるコストも平準化されるので、IT投資の見える化にもつながります。さらに、自社での対応が難しいセキュリティ対策をアウトソーシングすることで、情報漏えいのリスクを低減できます。当社センターでは、あらかじめパソコンの各種設定やソフトウェアのインストールを行い、導入後にすぐ利用可能な状態にするキitting作業も手がけているので、お客様社内における業務効率化も期待できます。

当社ではIT資産運用に対する需要の高まりを受けて、早期からこのLCM事業を展開しています。ライフサイクル全体だけでなく、お客様の要望に合わせて一部のフェーズのみを提供することも可能です。2019年のセンター移転を機に、当社はこのLCM事業の業務をDRに委託して協業を開始しました。DRはJECCグループのなかでも、主にレンタル・リース契約が終了したIT機器類の資産処分を得意とする会社です。お互いの強みやノウハ

ウを活かしながら2社間の連携を強めることで、より行き届いたLCMサービスの提供を実現しています。

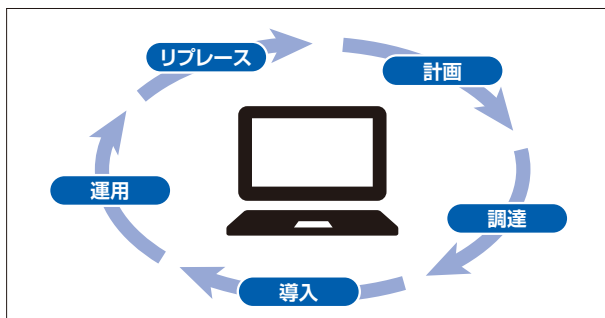
### 協業による3つの相乗効果で グループ全体のサービスが拡充

当社とDRの協業により得られたシナジーは、大きく分けて、①セキュリティの強化、②受け入れ件数の拡大、③サービス向上の3つです。

①のセキュリティの強化について、パソコンのデータ消去を得意とし、情報セキュリティの扱いに長けるDRがLCM事業に加わったことで、全体のセキュリティレベルが向上しました。2019年、大きな社会問題となったハードディスク不正転売による行政データの流出事件を受けて、当社においても情報漏えいに対するリスク管理の徹底は最重要事項として認識しています。現在のサービスセンター内では、社員のICカードによる入退出制限、防犯カメラによる作業監視、業者用エレベーターの使い分け、第三者機関による審査を経たISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証取得、データ消去のトリプルチェックなど、高水準の情報漏えい防止体制を構築しています。

②の受け入れ件数の拡大について、DRとの協業によりLCM部門で作業を行う人員数が増え、従来以上の案件数が受け入れ可能になりました。センター移転に伴い、レンタル契約が終了したパソコン等の機器を保管する場所や作業スペースも大幅に広がりました。特に、パソコン等の仕分けやクローニングを施すキitting作業においては、人員と場所の拡充によって移転前のセンターよりも多くの大型案件に対応できるようになりました。実際に現在のセンターでは、月数百台程のキitting作業であればすぐにでも受け入れができる体制が整ってい

（図） LCMサービスのイメージ



整理整頓されたレンタル機器

ます。

また、DRが入居する施設の敷地内にセンターを移転したことで設備費用の削減につながり、よりリーズナブルで質の高いサービスをお客様に提供しています。移転当時は、既存のお客様との物理的な距離が遠くなる懸念がありましたが、それにも増して、大型案件への作業スピードや受け入れ台数の拡大など、対応力において高い評価をいただいております。

③のサービス向上について、これまで別々に行っていた業務を相互に協力して行えるようになったことで、お客様の依頼に柔軟に対応できるようになり、対応できる案件の幅も広がりました。その一つとして、リースが終了した当社のIT機器類をDRが買い取り、入念に整備した後にレンタル品としてお客様に提供するサービスを新たに開始しました。JECCグループ内の連携により構築してきた一連のスキームが、LCM事業で実現したサービスが加わることで、より強固なものとなりました。昨今ではリモートワークの推進によるパソコンのレンタル需要が高まっており、当社のレンタル受注数も大きく伸びています。リース契約によりカスタマイズされた機器を長期的に使いたいというお客様はもちろん、使いたいときに使いたいシステムを短期でレンタルしたい、というお客様のニーズにも幅広く応えられる体制となっています。

## 新しい取り組みを視野に トータルサポートを目指す

ここ数年需要が高かったリモートワークのための環境整備も一段落し、次のフェーズに進むことが予想されます。そのような中でも、今後はさらに「循環型社会の実現」が求められ、所有から利用へシフトする企業が増加し、LCMサービス市場はこれからも拡大していくと予



1人の専門スタッフが複数台の設定を同時に行える作業環境を整備しています



作業の合間を縫って集合したサービスセンターのメンバー

想しています。また、数年後には文部科学省が主導するGIGAスクール構想の端末更新をはじめ、Windows7から10への入替えを行った端末の更新も控えています。このような商談の機会増大に合わせて、当社でも新しい取り組みの検討を始めています。

その一つとして、LCMサービスをさらに深堀し、オールインワンサービスを追求した上で、サービス自体をサブスクリプション（以下サブスク）化し、Web提供するような新たなビジネスモデルの創出も考えられます。サブスクは導入コストが月額で平準化されるため、個別に購入するよりも安価でパソコンを使用でき、短期で最新機種に切り替えることができるなどのメリットがあります。ただし、このサービスを実現するためにはBtoB取引に適合させることが必須で、またプライシングなど課題は多くありますが、柔軟にカスタマイズすることでより多くのお客様のニーズに叶うサービスとして提供できると考えています。

今後さらに注力していくことは、JECCグループ内でLCMの全てを完結できるトータルサポート体制を強化することです。これまで培ってきたレンタル・リース分野のノウハウを駆使し、LCM事業における各種サービスの充実や強化をお客様と共に進めてまいります。全ての契約手続き、費用の支払いを一本化し、IT資産運用の入口から出口までをJECCグループがトータルサポートする、その体制づくりをLCM部門が先陣となり取り組んでまいります。

### お問い合わせ

JECC、デジタルリユースが扱うLCM分野の商品・サービスの詳しい内容につきましては、下記までお気軽にお問い合わせください。

株式会社 JECC LCM 営業部：TEL 03-3216-3878

デジタルリユース株式会社 営業部：TEL 048-796-5007